

中学歴史プリント（過去問類似）

戦国時代

名前

得点

/9

問1 戦国時代の日本において、全国統一の動きを加速させる要因となった鉄砲について、その伝来の経緯を説明したものとして正しいものはどれか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|---|---|
| 1. 種子島に漂着したポルトガル人によって、1543年に伝えられた。 | 2. 日明貿易の進展に伴い、日本の商人が中国から直接買い付けて持ち帰った。 | 3. キリスト教の布教を目的としたスペイン人の宣教師によって、平戸で初めて紹介された。 | 4. 元寇の際に、元軍が使用していた「てつほう」を日本側が改良して国産化した。 |
|------------------------------------|---------------------------------------|---|---|

問2 16世紀半ば、フランシスコ・ザビエルらイエズス会の宣教師が日本を含むアジアなど世界各地へ布教に赴いた歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。（2017年 京都公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. ヨーロッパで始まった宗教改革に対し、カトリック教会が勢力を立て直そうとしたため | 2. マルコ・ポーロが『世界の記述（東方見聞録）』で日本を黄金の国と紹介したため | 3. 十字軍の遠征が失敗し、キリスト教徒が住む場所をアジアに求めるため | 4. 産業革命によって生産された工業製品を販売する市場を求めているため |
|--|--|-------------------------------------|-------------------------------------|

問3 鎌倉時代において、3代執権の北条泰時が「御成敗式目（貞永式目）」を制定した目的や背景を説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。（2015年 岡山公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 承久の乱のあと、新しく任命された地頭と、貴族などの荘園領主との間で土地をめぐる争いが増えたため、公正な裁判の基準を設ける必要があった。 | 2. 今川義元などの戦国大名が分国法を作ったことに対抗し、全国の武士が幕府に対して絶対的な忠誠を誓うための精神的な規範を示す必要があった。 | 3. 元寇（モンゴル襲来）による出兵で困窮した御家人の不満を解消するため、借金を無償で帳消しにする徳政令の仕組みを全国に広める必要があった。 | 4. 平将門の乱を鎮圧した後に生じた関東地方の混乱を抑えるため、貴族の法律である律令を武士にも厳格に適用することを目的とした。 |
|--|---|--|---|

問4 戦国時代において、各地の戦国大名が自らの領国（分国）内の武士や民衆を統制し、領国内の秩序を維持するために独自に制定した法律を何といいますか。（2024年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|----------|-----------|--------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 武家諸法度 | 3. 公事方御定書 | 4. 分国法 |
|----------|----------|-----------|--------|

問5 ルターが始めた宗教改革において、彼はキリスト教徒が信仰の根拠として最も重視すべきものは何であると主張しましたか。

（2018年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 聖書 | 2. ローマ教皇の命令 | 3. 免罪符（贖宥状） | 4. 教会が定めた儀式 |
|-------|-------------|-------------|-------------|

問6 戦国時代を象徴する「下剋上」という言葉の意味や背景として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 幕府が守護の権限を強め、地方の国人や農民を厳しく統制しようとしたこと。 | 2. 朝廷が有力な武士に官位を与え、伝統的な身分秩序を維持しようとしたこと。 | 3. 身分の低い者が実力によって上の立場の者を倒し、勢力を拡大させていったこと。 | 4. 農民が団結して自治組織を作り、守護による年貢の取り立てを拒否したこと。 |
|--|--|--|--|

問7 1543年に九州南部の種子島にポルトガル人が漂着した際、日本に初めて伝えられた武器について、その後の歴史に与えた影響として正しいものはどれか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 戦い方が騎馬による一騎打ちから、足軽による集団戦へと変化し、城の構造も強固な石垣を持つものへと変化した。 | 2. この武器の輸入を目的として、室町幕府の足利義満によって明との間で勘合貿易が開始された。 | 3. 鎌倉時代にモンゴル帝国が襲来した際、日本の武士が防衛のためにこの武器を組織的に使用して撃退した。 | 4. この武器の伝来をきっかけに、日本独自の武術である剣術や弓術が廃れ、すべての合戦がこの武器のみで行われるようになった。 |
|---|--|---|---|

問8 戦国時代の九州を代表する大名で、現在の府内（大分市）を拠点にキリスト教を保護し、有馬晴信や大村純忠とともにローマ教皇のもとへ「天正遣欧少年使節」を派遣した人物は誰ですか。（2025年 京都公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 大友宗麟 | 2. 朝倉義景 | 3. 今川義元 | 4. 北条氏康 |
|---------|---------|---------|---------|

問9 戦国大名の朝倉氏が定めた法には、家臣が各自の領地で勝手に城を構えることを禁じ、大名の本拠地に住まわせる方針が示されています。このように、大名が家臣を自らの膝元に集住させた目的として、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 広島公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--------------------------------------|---|
| 1. 家臣と土地の結びつきを弱めて反乱を防ぎ、軍事・政治的な統制を強化するため | 2. 家臣を農村に定住させることで、戦時以外は農業に専念させて食料生産を増やすため | 3. 海外から伝来した鉄砲やキリスト教が、地方の家臣に広まるのを防ぐため | 4. 家臣を各地の拠点に分散して配置することで、領土の境界線の防衛を固めるため |
|---|---|--------------------------------------|---|